

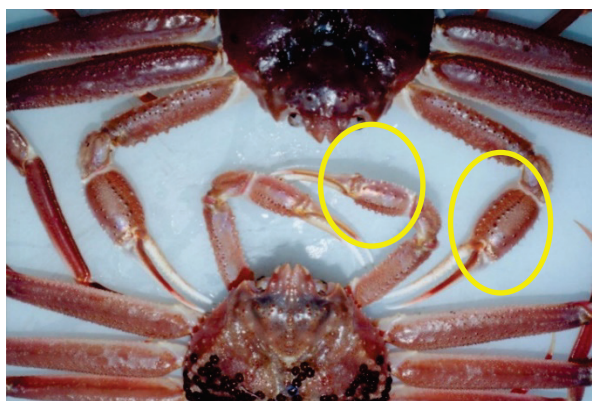
## ズワイガニ漁が解禁されました

11月6日にズワイガニ漁が解禁され、府北部の漁業や冬の観光業にとって極めて重要なズワイガニが舞鶴、間人、網野市場に水揚げされています。当センターでは、ズワイガニの資源状況を把握するため、海洋調査船「平安丸」での調査に加え、府内の主要市場である間人市場で水揚げされた雄ガニの甲羅の大きさ(甲幅)や数量などを毎年調べています。解禁日から12月中旬現在、雄ガニ(タテガニ)の漁獲量は過去3年同期で最も多く、特に甲幅130mm以上の大型のものが多いことが明らかとなりました。

今漁期から京都府では、ハサミが小さく未成熟で、甲幅100mm未満(甲幅90-99mm)の「モモガニ」と呼ばれる単価が低い雄ガニを漁獲禁止とする、自主的な取り組みが新たに始まりました。「モモガニ」は脱皮・成長途上にあることから、今後はさらに大型の雄ガニの増加が期待されます。今後も調査を継続し、ズワイガニ資源状況を把握するとともに、新たな取り組みの効果についても検証していきたいと思えます。



ズワイガニ漁解禁日の間人市場の様子



ハサミが小さいモモガニ(下)と  
大きいタテガニ(上)